

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	医療法人杏和会 阪南病院 新B棟	階数	地下1F地上3F
建設地	大阪府堺市東区八田南2期212番地16番、小阪664番2地2番、八田北期309番地13番	構造	RC造
用途地域	一種中高層、準防火地域	平均居住人員	800 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年9月 予定	評価の実施日	2022年3月1日
敷地面積	6,349 m ²	作成者	小田 祐司
建築面積	2,283 m ²	確認日	2022年3月2日
延床面積	7,907 m ²	確認者	益田 正博



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7 ★★★★★☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★☆ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 89%

③ 上記+②以外の: 88%

④ 上記+: 88%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.0

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合 1~3階は閉鎖病棟を中心とする精神科病棟であるため、建物外周を深い軒や縦ルーバー、透かし積みレンガ、豊かな緑などで包み込み、建物を使用する患者はもちろん、来院者や近隣住民に対するプライバシーにも配慮した計画としている。		・外装ルーバーは木やテラコッタなどのエコマテリアルを採用 ・同様にエコマテリアルである透かし積みレンガや外装タイルなどは、タイル製作時に発生する廃材を混入した地球
Q1 室内環境 病室は全て南北向きとし、自然光をふんだんに取り入れる計画とした。また、眩しさや熱負荷の影響が大きい東西面には透かし積みレンガのスクリーンを設けて日射を制御している。照明計画は間接照明をベースに適切な照度を確保することで、グレアを抑えた心地の良い環境としている。	Q2 サービス性能 限られた階高の中で、天井内のメンテナンス性を確保しながらゆとりある天井高さを確保した。将来的な更新性に配慮して乾式壁中心の計画とし、耐震壁は更新性を阻害しない位置にバランスよく効果的に設けている。また、設備機器は屋上と階階に集約し、機器のメンテナンス性や更新性	Q3 室外環境(敷地内) 低層かつ自然素材を活用した温かみのある建物デザインに加え、大きな建物ヴォリュームを平面的・立体的に分節化することで景観や圧迫感低減に配慮している。建物外周には緑豊かな庭や広場を設け、病院だけでなく地域に対する潤いの提供にも寄与する計画とした。
LR1 エネルギー 建物外周の深い軒や縦ルーバー、透かし積みレンガなどで、採光を確保しながら夏季の日射や西日の抑制を図っている。また、熱負荷の大きい屋根面は外断熱仕様の高性能塗膜防水に遮熱トップコートを塗布とし、同様に熱負荷の大きい開口部は複層ガラスを採用するなど、建物全体の熱	LR2 資源・マテリアル 外装材や内装仕上などにリサイクル資材を積極的に採用。木材はほぼ全て持続可能な森林から算出された木材を使用。また、天井内配管スペースの確保に加え、衛生・冷媒系統用のPS、空調系統用のDS、電気系統用のEPSなどの設備シャフトをそれぞれバランスよく配置し、メンテナン	LR3 敷地外環境 雨水貯留槽に加え、万が一のオーバーフローの際にはビットにも一時貯留が可能な計画。ロータリーに面して駐車場が確保されており、計画建物周辺の交通量は限定的。照明計画は光害の抑制に配慮した照明配置・照明器具選定とし、建物外周のバルコニーやルーバーなどにより屋内から

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	医療法人杏和会 阪南病院 新B棟	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市中区八田南之町212番他16筆、小阪666番2他2筆、八田北町309番他1筆	1.7	A
	主用途/延床面積	病院 / 7,907.40 m ²		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	4	● ● ● ● ●
エネルギー削減	3	● ● ● ● ●
建物の断熱性	5	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	4	● ● ● ● ●
自然エネルギー利用	○	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.4	3
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	4.0	4
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値	4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	3.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	2.6	3
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	5.0	5
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	3.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値	3.8	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値	4.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	4.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	4.0	○

4. その他

技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
住宅地に立地する敷地状況を踏まえ、敷地内外に対するプライバシー確保や自然豊かな環境の創出に配慮した。	